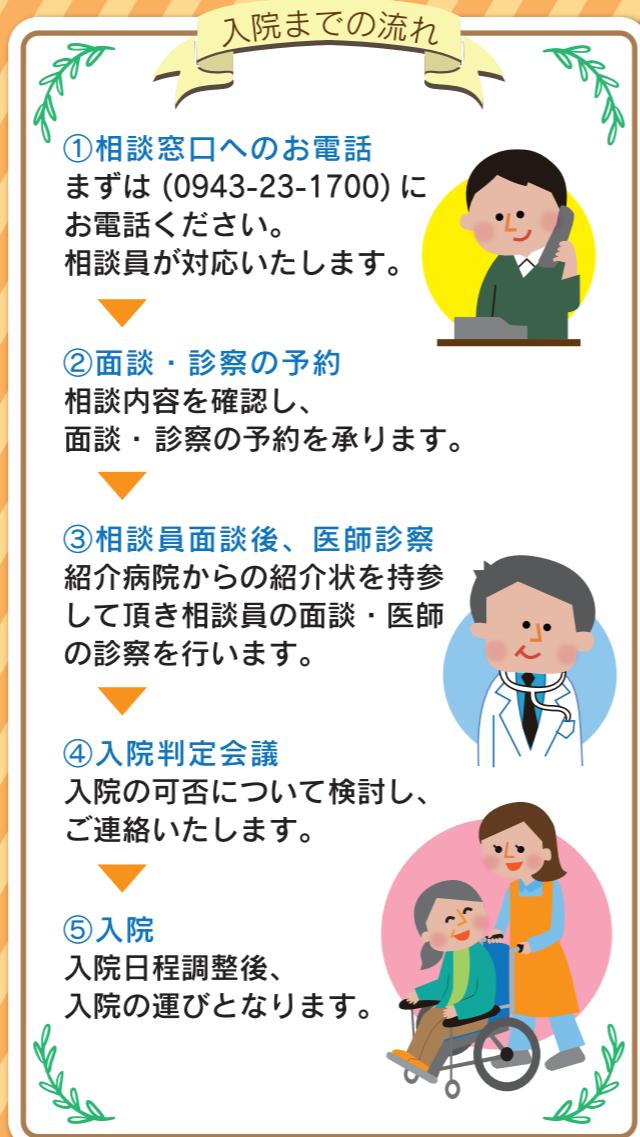


みどりの杜病院入院対象となる患者様

がんと診断された方で、患者様及びご家族がホスピスケアの主旨を理解されていることが必要です。(告知は必ずしも必要ではありません)在宅療養が一時的に難しくなった方や疼痛の緩和治療を考えている方、また、在宅でケアしているご家族の精神的疲労の軽減(家族のレスパイト目的)としても利用できます。

※見学(無料)も受付しております。まずお電話にてご予約をお願いいたします。

※面談の際は面談料を頂いております。



みどりの杜病院広報誌

風MIDORI

～かざみどり～

R.1
7
vol.24



おいしい・簡単 おすすめ レシピ♪ 豆乳パンナコッタ



材料(容器4個分)

- 豆乳……………300ml
- 生クリーム……………100ml
- 砂糖……………60g
- 粉ゼラチン……………5g
- 水……………大さじ2
- ジャム(好みのものを)…大さじ1
- 水……………小さじ1

作り方

- ゼラチンと水(大さじ2)を混ぜ合わせておく。
- 鍋に豆乳と砂糖を入れ、火にかける。時々かきませて砂糖が溶けたら火を止める。(沸騰させないように注意を)
- 1のふやかしたゼラチンを加え、混ぜながら溶かす。
- 最後に生クリームを加え混ぜる。
- 容器に注ぎ、粗熱が取れたらラップをして冷蔵庫で冷やし固める。
- 好みのジャムを水でのばして固まった生地の上にのせる。



豆乳(大豆)には良質なたんぱく質と脂質が含まれています。豆乳(大豆)に含まれるたんぱく質は血液中のコレステロールを低下させ、血圧上昇を抑制する作用があり、脂質には善玉コレステロールを増やす作用があり、高血圧・動脈硬化を防ぐ効果があります。豆乳(大豆)に含まれるイソフラボンは女性ホルモンと似た働きをするため骨粗鬆症の予防効果や若返りホルモンを増やすといわれています。

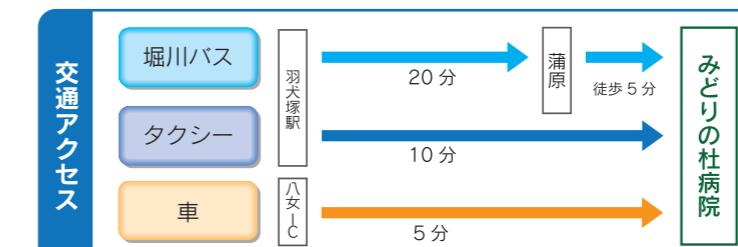
編集後記

6月10日は、「時の記念日」でした。「時は金なり」ということわざもあります。こういう記念日やことわざが時間の大切さを教えてくれます。時間は、目でみえるわけでもなく、また過ぎてしまうと戻ってくるわけではありません。患者さんとお茶やお話をするとまたりとした時間も何かに没頭する時間もイライラしている時間も過ぎる時間は皆平等です。患者さんの貴重な時間を共に過ごさせていただくことに改めて感謝します。当院のことをより皆さんに伝えるため、編集後記を考える時間も大切な時間です。皆さんこの広報誌を手に取っていただいたこの時も充実した時となるれるよう日々、頑張って作っていきたいと思います。T.K

病院理念 私たちは、あなたと家族が、今という大切なときを自分らしく生きることに寄り添います。

行動指針

- 患者や家族との関わりを、その出会いから大切にします。
- 患者や家族の生活空間に配慮します。
- 緩和ケアが普及し発展することを目指します。
- 地域の方々が安心して過ごせる社会をつくります。



ホームページ、フェイスブックを検索！ [みどりの杜病院](http://www.yame-midori.jp) 検索
ホームページ <http://www.yame-midori.jp>
フェイスブック <http://www.facebook.com/midorinomori.yame>



公立八女総合病院企業団
みどりの杜病院
MIDORI NO MORI
PALLIATIVE CARE & HOSPICE

〒834-0051 福岡県八女市立野 362 番地 1

TEL 0943-23-0002 FAX 0943-23-0012

相談専用ダイヤル 0943-23-1700

公立ホスピスの役割

院長 原口 勝

「在宅診療をしようという医師は少ない。特に郡部の在宅診療は採算が合わない。だから公立病院でしてほしい」と、医師会から言われたのが、2013年のことでした。当時は、福岡市南区の那珂川病院に勤務していましたが、公立八女総合病院の非常勤医師として在宅診療に携わっていました。旧八女郡星野村の出身ですので、将来的に八女地区の医療に携わりたいと思っていました。「在宅診療は医師会とは競合しないし、地域に必要とされている」という使命感で訪問診療を行っているうちに、2015年4月から、みどりの杜病院に勤務することになりました。みどりの杜病院は完全独立型ホスピスといって、病院全体がホスピスなので、「死に場所。あそこに入ったら出られない。入院したらすぐに死んでしまう」という風評がありました。しかし「苦痛少なく穏やかに過ごせる所。より良く生きるために棲家」ということが少しずつ認識されるようになり、手前味噌ですが、「良く診て(見て)もらった」との評価をいただき、その積み重ねだと思うのですが、緩和ケア病棟も在宅診療も安定して運営ができます。現在八女筑後医療圏で、がんで亡くなる方は年間約500人ですが、みどりの杜の病棟で約200人、在宅で約30人の看取りを行っています。今後は、地域の医療機関での緩和ケアにお手伝いができるようになります。在宅診療については、かかりつけ医によって行われる一次の在宅ケアを、症状緩和や夜間休日の診療の援助や緊急入院に対応するような二次の在宅ケアとして支援する取り組みを考えています。また公立八女総合病院の中には緩和ケア外来と緩和ケアチームがあって、外来や入院の患者さんの緩和ケアを行っていますが、さらに一般病棟の中での緩和ケアの取り組みを広げていく必要を感じています。



イベント紹介 お花見会 3/30

3月30日、今年も「紅泉会」の皆様をお迎えして「お花見会」を開催しました。5歳の女の子から大人の方まで総勢8名の皆さんに見事な日本舞踊をご披露いただき、凛としたいつもと違う雰囲気を体験することができました。日本舞踊の後は、デザートビュッフェ。甘いスイーツにほつとしながら宴を終えました。



第18回みどりの会

2月16日、第18回みどりの会を開催しました。ご家族とともに故人を思い出し、涙しながらも、笑い声もきこえる和やかなひとときでした。今回の記念樹は、【イタヤカエデ】を選びました。春に小さな黄色の花をつけ、秋には黄褐色の葉で私たちを楽しませてくれると思います。



～ご家族の声を掲載させていただきます～

- ・同じように家族を亡くされた方たちの気持ちに共感しながら、自分を振り返ることもできました。会にお説明いただきありがとうございました。
- ・改めて故人の事を思いだされた。
- ・ここへ来なかつたら医療不信、すべてを後悔で過ごしていたと思います。生きるということ、父とここで過ごしたことですつと考えています。自分を生きることに向き合うきっかけを作ってください、また、亡くなつても繋がりがあることに家族とも心強く思っています。

ボランティアだより



新緑の季節になりました。皆さまこんにちは。コーディネーターの永松です。今年は寒暖の差が激しかったため、桜の花が長くもちましたね。4月に入り笑いヨガの笑いから始まり、八女グリーンクラブ男性合唱団の歌声が院内に響き渡りました。たくさんのボランティアさんが外からの風を運んでくださいます。語り弾きギター演奏者の歌声も大変好評です。ボランティアさんの力で病院が明るくなりました。園芸・傾聴・アロマ・受付・イベントボランティアさんの募集をまだ受け付けています。どうぞ、こんなことができますですか?の質問でOKです。気軽にお問い合わせください。

在宅医療推進室より

在宅医療推進室 松延 絵美



2018年11月よりみどりの杜病院 在宅医療推進室にて事務として勤務しております。主な業務は訪問診療を行う医師・看護師のサポートです。訪問診療に同行させていただくことがあるのですが、穏やかな表情で昔の思い出話を話してくださる患者さんとお会いすると、痛みを和らげる、つまり、緩和することがいかに患者さんにとて重要なことであるかを感じます。各訪問看護ステーションとも連携し、患者さんのお役に立てればと思っております。知識・経験共に未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。